

自然派宣言

CHALL ENGE

発行
2020年3月10日
徳島県議会議員
庄野 昌彦

庄野まさひこ 県政レポート No.34

木育を推進しよう！

2019年に徳島県で開催された「第6回木育サミット in 徳島」、そして本年2月に東京で開催された「木育サミット in 新木場」に参加しました。

木育とは、子どもをはじめとするすべての人々が「木とふれあい、木に学び、木と生きる」取り組みであり、子どもの頃から木を身近に使っていくことを通じて、人と木や森との関わりを主体的に考えられる豊かな心を育むことです。木を使うことで森林・林業・林産業を元気にさせ、山村・里山を中心とした地域経済を活性化させます。

木のおもちゃは子どもの五感に働きかけ、感性豊かな心の発達を促すことと、親にとっても癒し効果があります。子どもが育つ環境に木を取り入れていくことで、木の良さ（魅力）を感じようではありませんか。本県でも木育広場が順次設置されており、その拠点となる「とくしま木のおもちゃ美術館」が2021年度あすたむらんど徳島につくられます。



共生・共助の社会をめざして

徳島県議会議員 庄野 昌彦

皆様方におかれましては、お変わりございませんでしょうか。公私ともにご指導をいただいておりますことに心から深く感謝申し上げます。

昨年に発生した台風15号、19号により、人的被害も含め大変大きな被害が出ました。地球温暖化問題、海洋プラスチックごみ問題、食品ロスの問題、私たちは、地球環境や生態系に配慮をした生活や取り組みを推進していく必要性を痛感する今日この頃です。

今回の県政レポートは、県議会の代表質問でも取り上げた、食品ロスをどのように削減していくのか。県内外で開催された「木育サミット」の成果をいかに県民に届け、木とのふれあいを醸成していくのか。また、関西広域連合議会での活動などを書かせていただきました。

新型コロナウイルスの問題、南海トラフ巨

大地震・津波対策、アフリカ豚コレラなどの家畜伝染病侵入防止のための水際対策確立など、危機管理が今後とも重要です。

私は、これからも、人を大切にする政治をつらぬき、共に助け合い、共に生きていく、やさしい社会をめざして、皆様方と共に頑張っていく決意を申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

自宅 〒770-8024 徳島市西須賀町東開60-19
☎ 088-669-5403 Fax 088-669-5408
HP <http://www.shonom.eek.jp>
mail info@shonom.eek.jp

真の「地方分権・地方自治」を確立しよう。

県議会の状況

会派「新風とくしま」

〔所属委員会〕

文教厚生委員会

環境対策特別委員会

関西広域連合議会 議員

これからも、頑張ります。皆さまのご意見お聞かせください。



代表質問

2019年6月25日、会派「新風とくしま」を代表して

以下、要旨を述べさせていただきます。
なお、全文は私のホームページ(<http://www.shonom.eek.jp>)に掲載しています。

①地球温暖化防止対策水素エネルギーの普及促進について

質問「庄野」 近年、地球温暖化防止対策はまさに差し迫った課題となっております。こうした中、脱炭素社会を実現するため注目されているのが「水素」です。県が掲げる「2020年燃料電池バス本県導入」は、県民生活に身近なものとして、また観光資源のひとつとして、本格的な普及促進につながるものと期待しています。そこで、燃料電池バスの本格的な運航に必須である県内の水素供給拠点の整備に向け、今後どのように取り組むのかお伺いします。

答弁「飯泉知事」 本県では、平成27年度に「徳島県水素グリッド構想」を策定し、自然エネルギー由来・水素ステーション、四国初・移動式水素ステーションの導入、全国に先駆けた公用車への「燃料電池自動車」の導入など、着実に社会実装を進めてきました。

これまでの取り組みを加速させるため、公共交通機関関への燃料電池バスの導入を前提とした「水素供給拠点」の整備に向け、「四国太陽日酸・株式会社」「東亜合成株式会社」に本県も加わった三者の間で、水素ステーションの開設を進めることについて、台意に至りませんでした。

「全国初」となる「地産地消エネルギー・副生水素」活用による「365日定時運用」が可能な水素ステーションの2020年度中の設置を目指してまいります。

②食品ロス削減対策について

食品ロスの削減は、今や世界的な課題であり、国連の「SDGs(持続可能な開発目標)」でも、「人当たりの食料廃棄量を世界全体で2030年までに半減させる」との目標が掲げられています。

こうした中、去る5月31日、「食品ロス削減推進法」が公布されました。この法律が食品関連事業者に加え、廃棄される食品を企業などから譲り受け、福祉施設などに届ける「フードバンク」の活動に対する支援についても、政府や自治体に促している点は、特に評価できると思います。

そこでお伺いします。食品ロス削減対策を実効あるものとするには、事業者や「フードバンク」などに対する県の支援が不可欠と考えますが、「食品ロス削減推進法」の制定を機に、今後どのように取り組むのかお伺いします。

答弁「福井政策監」

廃棄される食品の半数は、「外食」や「食品の製造流通段階」で発生していることから、「食品関連事業者」や「フードバンク」による「実践」を「後押し」する取り組みを展開し、「食品ロス削減の日」である10月30日に本県で開催する「全国大会」において、強力に発信したいと考えております。また、「フードバンク」に関しては、「活躍の場」を県下全域へと広げることが課題とされており、具体的には、「フードバンク」に加え、「食品提供事業者」「社会福祉協議会」「子ども食堂」「システム開発業者」などが参画する、ICTを活用した「フードバンクモデル検討委員会」を立ち上げ、新たな「フードバンク」



関西広域連合議会にて登壇し、関西広域連合としてアフリカ豚コレラの国内侵入を防ぐ取り組み強化を求めました。(2019年11月21日)

システム」の構築を支援いたします。
今後とも、多様な主体が連携し、「県民総ぐるみ」で「食べ物を無駄にしない意識」の醸成・定着を図り、「本県が食品ロス削減をリードする」との強い決意を持ち、全力で取り組んでまいります。

③「家畜伝染病」の発生に備えた防疫対策の強化について

質問「庄野」 昨年9月には、国内では26年ぶりに岐阜県で「豚コレラ」が発生し、これまでに10万頭を超える豚が殺処分されるという甚大な被害が出ているところであり、未だ終息に至っていない状況です。

一方、海外では、伝播力が強く、有効なワクチンや治療法がない「アフリカ豚コレラ」の感染が拡大しています。
特に「アフリカ豚コレラ」は、海外からの旅行者が持ち込んだ豚肉製品から、ウイルスの遺伝子等が検出されており、その侵入に対し最大の警戒が必要とされています。

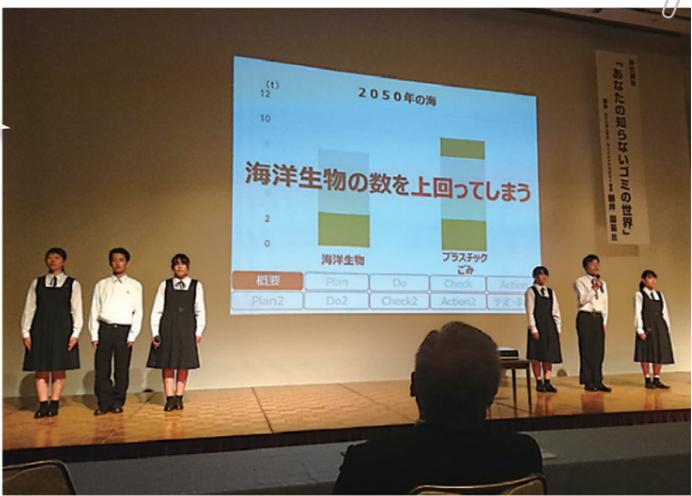
本県でも、夏の「阿波踊り」に加え、今年は「G20国際会合」や「ラグビーワールドカップ」等、大きな国際イベントが控え、県内への家畜伝染病の侵入リスクは今までになく高まっており、本県畜産業を守るためには、その水際対策が重要と考えます。

そこで、国内外で発生する家畜伝染病を本県に侵入させないため、県としてどのような対策を講じていくのか、お伺いします。

答弁「福井政策監」 今年度から、全ての県獣医師職員「95名」を防疫作業の司令塔となる「家畜防疫員」に任命し、より一層の「即応体制」を整備したところであります。

一方、海外からの侵入を防止するためには、国際便が到着する空港及び海港での「水際対策」が重要であり、国においては、全ての入国者に対する「靴底消毒」の実施や、「検疫探知犬」を活用した手荷物検査等、検疫体制を強化しているところであります。

さらに、海外からの旅行者が、ウイルス混入の可能性のある「食肉製品加工食品」を県内に持ち込むことがないよう、空港・海港において、「食肉製品の持ち込み禁止」のポスターを掲示し、侵入防止の徹底を周知しているところであります。



プラスチックごみ削減フォーラムに参加しました。(徳島グランヴィリオホテル)(2019年8月27日)

④自転車道の整備について

今後とも、「発生させない、持ち込ませない」との強い気概の下、関係機関と連携しながら、家畜伝染病の侵入防止に向け、守りの体制をしっかりと固めてまいります。

質問「庄野」 愛媛県と広島県を結ぶ西瀬戸自動車道は、「しまなみ海道」と呼ばれ、最大の特徴は、自動車専用道路でありながら、自転車道が整備され、自転車及び歩行者が通行できることです。7つの橋で結ばれた島々には、自転車道やブルーラインなどの自転車通行空間が整備され、魅力的な観光資源となっております。外国からも多くのサイクリストが訪れ、民宿等に宿泊しています。

しまなみ街道を楽しくサイクリングをする人たちを見ると、「大鳴門橋を自転車で走りたい」という想いが一層強くなります。
世界最大規模の渦潮を眼下にサイクリングできる、世界で類を見ない自転車道が実現すれば、本県の自転車道の整備推進や新たな観光客の誘致につながると思っております。

そこで、質問ですが、大鳴門橋の自転車道の実現に向けて、どのように取り組んでいくのか、お伺いいたします。

答弁「北川県土整備部長」 現在、大鳴門橋の「新たな活用策」として、「自転車道設置」の可能性について兵庫県、本州四国連絡高速道路株式会社と連携し、検討を進めているところであり、この自転車道が実現すれば、「鳴門の渦潮」と相まって、サイクリングを楽しむことができる、世界で唯一の魅力的な「自転車走行空間」になります。

このため、昨年度より、自転車道設置に伴う「重量増加」による影響を確認するとともに、今年度は、暴風時の影響を解析する「風洞試験」を実施しているところであり、引き続き、「渦の道との共存」に配慮した配置計画や、事業運営手法、採算性の検討などを行ってまいります。

今後とも、本県における、一層の観光振興や、更なる交流人口の拡大を図るため、引き続き、関係機関と連携し、大鳴門橋への「自転車道設置」に向けた取り組みをしっかりと進めてまいります。

その他

● タンDEM自転車の一般公道における走行解禁について ● 県職員、教員の働き方改革について ● 農福連携について ● 畜産振興について ● 県土強靱化について 等質問しました。

庄野まことの行動・日誌

2019年

- 2月13日 2月定例県議会開会
- 16日 第6回木育サミットin徳島(あわきんホール)
- 19日 代表質問
- 20日、21日 一般質問
- 27日、28日 県土整備委員会
- 3月1日 地方創生対策特別委員会
- 8日 2月定例県議会閉会
- 14日 大松小学校卒業式
- 15日 大松幼稚園保育修了式
- 17日 とくしまラッパ2019
- 29日 県議選告示
- 4月7日 県議選投票日(7期目の当選をさせていただきました)
- 9日 大松小入学式
- 10日 大松幼稚園入園式
- 27日、28日 代表質問
- 29日 文教科書審議会
- 5月16日 移動店舗事業協同組合総会(JA会館)
- 17日 臨時県議会
- 23日 徳島市戦没者追悼式
- 26日 フレッシュ定期大会(JA会館)
- 30日 徳島県獣医師会第8回通常総会
- 6月1日 県議選決まり
- 8日 アジアアフリカ支援米田植え主催食とみどり、水を守る徳島県民会議
- 14日 文教科書審議会(事前)
- 18日 環境対策特別委員会(事前)
- 22日 6月定例県議会開会
- 29日 関西広域連合議会全員協議会(大阪市本部)
- 7月3日、5日 文教科書審議会
- 9日 環境対策特別委員会
- 16日 6月定例県議会閉会
- 23日 文教科書審議会(県内視察(鳴門病院他))
- 8月5日、7日 文教科書審議会(県外視察(秋田県、東京都阿波踊り(麻布大学同窓会))
- 12日 関西広域連合議会(大阪市本部)
- 22日 関西広域連合議会(大阪市本部)
- 24日、25日 江南ライオンズクラブ親善行事(江南市)
- 29日、30日 関西広域連合議会8月定例会(堺市)
- 9月3日、4日 環境対策特別委員会視察(神奈川県、東京都)
- 13日 文教科書審議会(事前)
- 16日 敬老会(大松小学校体育館)
- 18日 環境対策特別委員会(事前)
- 19日 9月定例県議会開会
- 23日 第49回小中剣道大会(徳島眉山ライオンズクラブ主催)
- 25日 代表質問
- 26日 一般質問
- 10月2日、3日 文教科書審議会
- 7日 環境対策特別委員会
- 5日 9月定例県議会閉会
- 11日 大松小学校運動会
- 13日 関西広域連合議会(大阪市本部)
- 19日 反戦集会(徳島市)
- 21日 環境問題講演会(大阪市)
- 25日 食品ロス全国大会(徳島市)
- 31日 狭山県内集会(徳島市)
- 11月2日 関西広域連合議会全員協議会(大阪市本部)
- 10日 第1回徳島木育サミット(アステールくしま)
- 21日 関西広域連合議会(大阪市庄野登壇質問)
- 25日 文教科書審議会(事前)
- 28日 環境対策特別委員会(事前)
- 29日 11月定例県議会開会
- 12月4日 代表質問
- 5日 一般質問
- 7日 コウトリフォーラム(徳島市)
- 11日、12日 文教科書審議会
- 16日 環境対策特別委員会
- 19日 11月定例県議会閉会

2020年

- 1月5日 徳島市消防出初式
- 8日 連合徳島旗開き
- 10日 自治労徳島県本部旗開き
- 12日 合同成人式(多家長コメン)
- 14日 県議選合旗びらき
- 15日、18日 会派研修(香港JETRO、在香港日本国領事館他)
- 23日 農業振興議員連盟視察(勝浦町)
- 2月2日 佐那河内村ふれあいまつり
- 6日 文教科書審議会(事前)
- 8日 第7回木育サミットin新木場(東京都)
- 10日 環境対策特別委員会(事前)
- 12日 2月定例県議会開会
- 15日 関西広域連合議会(大阪市)
- 18日 代表質問
- 19日、20日 一般質問
- 27日、28日 文教科書審議会
- 3月1日 関西広域連合議会(大阪市)
- 3日 環境対策特別委員会
- 10日 2月定例県議会閉会

食は命の源「地産地消」の拡大を!

「共に生きる・ノーマライゼーション」を推進しよう。

2019年度活動トピックス



2019年 1月25日
日本ジビエサミット in 徳島が開催され、参加。(徳島グランヴィリオホテル) ①



2019年 2月16日
美波町にて、ワカメなどの調査を実施。②



2019年 2月16日
木育サミット in 徳島に参加。(あわぎんホール) ③



2019年 3月12日
連合徳島主催の「暮らしの底上げ街宣」に参加し、公正・公平な社会の実現を訴えた。④



2019年 3月17日
徳島マラソン2019スタートセレモニーに参加。⑤



2019年 6月1日
県職連合まつりに参加。すだちくんも頑張りました。(アスティとくしま) ⑥



2019年 6月8日
アジアアフリカ支援米田植え。(食とみどり、水を守る徳島県民会議主催) ⑦



2019年 8月30日
関西広域連合議会にて、J-GREEN SAKAI 堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンターを訪問。⑧



2019年 9月5日
G20国際会議に出席。(徳島クレメントホテル) ⑨



2019年 10月30日
食品ロス全国大会に参加。(徳島グランヴィリオホテル) ⑩



2019年 12月7日
コウノトリフォーラムを、実行委員会で開催。⑪



2019年 12月18日
四国大学文学部学生による、書道パフォーマンス。(議事堂1階) ⑫

テロも戦争も貧困もない平和な地球の創造を!